

令和5年度
(2023年度)

学校関係者評価報告書

令和5年(2023年) 4月 1日から
令和6年(2024年) 3月31日まで

令和6年(2024年) 7月29日

学校法人吉田学園
吉田学園情報ビジネス専門学校

■令和5年度 学校関係者評価について

〈説明〉

本校が、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくため、校訓や学校の目標と教育の実態とを照らし合わせ、自らの教育研究活動等の状況について自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、その結果を踏まえ、優れている点や改善を要する点など自己評価を行いました。

1. 実施日時

令和6年7月29日(月) 17:00～18:15

2. 実施場所

吉田学園情報ビジネス専門学校 503 教室

3. 実施方法

(1)実施組織:学校関係者評価委員会

○評価委員:

石原 勲	北15東6親交会 町内会長
奥定 祐佳	保護者
谷崎 英二	株式会社テクタス 代表取締役

○学校関係:

橋本 直樹	吉田学園情報ビジネス専門学校 校長
柏木 典大	吉田学園情報ビジネス専門学校 エンジニア系学科 学科長
川東 博之	吉田学園情報ビジネス専門学校 クリエイター系学科 学科長
千葉 昌弘	吉田学園情報ビジネス専門学校 ビジネスキャリア学科 学科長
菅野 崇行	吉田学園情報ビジネス専門学校 エンジニア系学科 副学科長

(2)評価基準:文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠しています。

(3)評価方法:令和5年度学校運営・教育活動実績報告書に対する学校関係者評価。

4. 評価項目

次の11項目について実施

- (1)教育理念・目標
- (2)学校運営
- (3)教育活動
- (4)学修成果
- (5)学生支援
- (6)教育環境
- (7)学生の受け入れ募集
- (8)財務
- (9)法令等の遵守
- (10)社会貢献・地域貢献
- (11)国際交流

5. 評価項目に対する評価

(1) 4段階で点数評価しました。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項を記載

① 項目3 教育活動に関する意見

(学校より)

現在のエンジニア系学科の教員採用に係る状況について報告がなされた。

② 項目4 学修成果に関する意見

(学校より)

2023年度の就職率及び資格取得率、離脱率の状況について、年度目標と実績数値の説明がなされた。

(委員からの意見)

就職率は昨年比で向上しているが、業界として現在は売り手市場であり、就職率が上がるのは必然と考える。また、採用の重点がスキル重視から人間性重視に変わったという見解については、採用企業側として長期的に働いてもらうことを前提に考えれば人間性重視となる傾向は強くなるだろう。使い捨てとにならないことを考えると良い傾向ではないか。

(学校より)

就職活動中の学生の自宅での様子について、保護者代表の委員に伺いたい。

(委員からの意見)

周りの友人の就職が決まり始めると多少の焦りはあるようだが、本人が専門就職を目指したい気持ちに変わりはない。

(委員からの意見)

希望する就職地域について、道内、道外、それぞれ希望がかなわないケースはあるか。

(学校より)

クリエイター系は道外(東京や大阪方面)の就職を希望する者が多い傾向がある。道内の就職が叶わず、道外に出るケースもある。エンジニア系学科では最近札幌の求人も増えてきた傾向がある。

(委員からの意見)

資格を取得することで就職に有利となる状況は見られるか。

(学校より)

エンジニア系の就職では、資格取得を採用条件としているところはほとんどない。資格取得率の向上は、就職への影響以外にも学生募集の観点において影響することも考えられる。企業側の立場として委員の経営する企業の意見を伺いたい。

(委員からの意見)

当企業においても採用の際に資格取得に関してはそれほど気にしていないのが現状である。

(委員からの意見)

在籍率の状況はそれほど悪い結果ではないように感じるが、他校と比較してどうなのか。

(学校より)

学校や分野によって数字は変わるが、学園のグループ校と比べても悪くはない結果である。学校としては一人の離脱なく卒業を迎えてもらうのが目標であり、それに向けて今後も取り組みを行っていく。

(委員からの意見)

学園としてオンラインによるカウンセリングを実施しているようだが、最近企業もメンタルヘルスやハラスメント対応などを外部に委託し管理するところが多くなっている傾向にある。

③ 項目7 学生の受け入れ募集に関する意見

(学校より)

2023年度の入学者目標をもとに2024年度の実数値の報告と振り返りについて説明がなされた。

(委員からの意見)

入学者の性別について、比率などに変化はあるか。

(学校より)

大きな変化はない。CG系は男女比については半々、エンジニア系、ゲーム系に関しては女性比率が低い傾向が見られる。

④ 項目10 社会貢献・地域貢献に関する意見

(学校より)

従来学校として地域貢献の一環として地域清掃等の取り組みを行っているが、町内会の立場から委員にご意見を伺いたい。

(委員からの意見)

町内会としての活動はコロナ禍以前の状況に戻ったが、町内会活動の実施側の高齢化も進み、地域活動を維持するのが大変な状況である。

⑤ 項目11 国際交流に関する意見

(学校より) 留学生の在籍状況と合わせて、近年の留学生状況について補足説明がなされた。

6. その他

(1) 以下、令和5年度(2023年度) 学校自己点検・評価報告書より。

項目1 教育理念・目標

・項目評価 4.0

・すべての項目について適切と評価

項目2 学校運営

・項目評価 4.0

・すべての項目について適切と評価

項目3 教育活動

・項目評価 3.9

・(3)-11について、2025年度からの新学科編成に対応し、2024年度から教育内容の充実に向け、更なる教員確保に努める。

項目4 学修成果

・項目評価 3.4

・(4)-1について、専門就職率目標達成に向け、学校全体で踏み込んだフォロー体制の強化と、クリエイター系企業における人間性重視の採用面接に対応できるよう、新たな対策を講じる。

・(4)-2について、特に国家資格取得率向上に向け、試験合格に向けたモチベーション向上のための取り組みと、教務内における分析作業を実施する。

・(4)-3について、オンライン健康相談をさらに利用促進するとともに、学生の自己効力感・自己肯定感を醸成する取り組みを実施、継続する。

項目5 学生支援

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目6 教育環境

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目7 学生の受入れ募集

- ・項目評価 3.4
- ・(7)-1について、オープンキャンパス参加者の出願率改善に向けた施策の実施と、学生募集に係る学内分科会を立ち上げ、意欲的に募集活動に取り組める風土の醸成に努める。

項目8 財務

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目9 法令等の遵守

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目10 社会貢献・地域貢献

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目11 国際交流

- ・項目評価 3.8
- ・(11)-4について、留学生の就職決定状況を改善するため、留学生受け入れ企業の調査開拓を行う。また、留学生の能力や特性を踏まえた授業内容の組み立てやフォロー体制の充実を図る。

以上